



二つの通りをみんなはどう考えていくの？



都心全体の中で通りの将来像を描いていきます

市では、現在都心のまちづくりを交通面から支える「都心交通計画」の策定に取り組んでいます。札幌駅前通・創成川通の将来についても、この計画の中に盛り込んでいきます。

## 都心の交通と空間を考える 大規模市民ワークショップ

日時 11月14日(金)、15日(土)午前10時～午後5時（2日間とも同プログラム。いずれか1日に参加）。  
会場 メディアパークスピカ（中央区北1西8）。  
定員 各日400人。

- かつてない規模の市民参加イベント
- これからの市民参加を考えるモデルに
- 10人程度のテーブルに分かれて討議
- 各テーブルの意見集計結果を画面表示
- 参加者には事前に資料を送付

## 参加者大募集！

申込 札幌市コールセンターへ電話。または、はがきに住所、氏名、年齢、職業、性別、電話番号を記入し送付。ファクス、Eメールも可。多数時抽選。  
申込期限 10月31日(金)(必着)  
受付電話 ☎222-4894（市コールセンター）  
送付先 〒060-8611中央区北1西2市役所都心交通担当課  
ファクス 218-5114（都心交通担当課）  
Eメール toshinkotsu@kikaku.city.sapporo.jp（都心交通担当課）

## 都心交通社会実験にもご注目！

より魅力的で快適な都心交通を目指すさまざまな取り組みの効果を測るため、都心部の道路を使った実験を、10月下旬から11月下旬にかけて行います。(詳しくは34ページ)。大規模ワークショップに参加する方ははじめ、多くの方に実験の様子をご覧いただき、都心交通について考えるヒントにさせていただきたいと考えています。

### 特集についてのお問い合わせは

都心交通担当課  
☎211-2254へ

す。年度内に行います。次の段階に進むための判断を今年度内に行います。事業認可など、次の段階に進むための判断を今年度内に行います。また、地上部の整備に関する都市計画決定、創成川通連続アンダーパスについては、



当面のスケジュールは？



11月に大規模な議論の場を設けます。

都心の交通を切り口に多くの皆さんの意見をお聞きするため、千人規模のワークショップを開きます。現在有識者からなる都心交通計画策定委員会がこれまでの市民議論を基に、計画の方向性や、都心の主な通りについて検討中です。ワークショップでは、委員会の示した検討材料を基に参加者に議論していただきます。



ワークショップ後の動きは？



次の段階に向けた判断を年度内に行います。

ワークショップの結果に基づき、策定委員会です。この中には、札幌駅前通、創成川通の地上部の道路空間のあり方を盛り込みます。また、駅前通については、地上部の整備に関する都市計画決定は今年度末を予定しています。